

心理的負荷評価表に係る業務上の出来事の追加・修正(たたき台)

出来事の種類	項目番号	現行		改正案		備考
		具体的出来事	負荷の強度	具体的出来事	負荷の強度	
①事故や災害の体験	1	大きな病気やケガをした	Ⅲ	重度の病気やケガをした		より客観性を確保するために記述を明確化
	2	悲惨な事故や災害の体験(目撃)をした	Ⅱ			
②仕事の失敗、過重な責任の発生等	3	交通事故(重大な人身事故、重大事故)を起こした	Ⅲ			
	4	労働災害(重大な人身事故、重大事故)の発生に直接関与した	Ⅲ			
	5	会社にとっての重大な仕事上のミスをした	Ⅲ	会社の経営に影響するなどの重大な仕事上のミスをした		重大なミスの例示により、評価する出来事の程度を明確化
	6	会社で起きた事故(事件)について、責任を問われた	Ⅱ			
	7	ノルマが達成できなかった	Ⅱ	「達成困難なノルマが課された」と「ノルマが達成できなかった」に分割		評価する出来事を明確化
	8	新規事業の担当になった、会社の建て直しの担当になった	Ⅱ			
	9	(新規追加)	—	違法行為を強要された	Ⅱ	14年NO.4及び18年度NO.31を反映
	10	(新規追加)	—	自分の関係する仕事で多額の損失を出した	Ⅱ	18年NO.5を反映(自らのミスによる損失は項目5で評価)
	11	(新規追加)	—	職場で顧客や取引先から無理な注文を受けた	Ⅱ	14年度NO.5及び18年度NO.8を反映
	12	(新規追加)	—	達成困難なノルマが課された	Ⅱ	評価する出来事を明確化
	13	顧客とのトラブルがあった	Ⅰ	顧客や取引先からクレームを受けた	Ⅱ	14年度NO.8を反映
	14	(新規追加)	—	研修、会議等の参加を強要された	Ⅰ	14年度NO.27、35を反映
	15	(新規追加)	—	大きな説明会や公式の場での発表を強いられた	Ⅰ	14年度NO.41を反映
	16	(新規追加)	—	上司が不在になることにより、その代行を任された	Ⅰ	18年度NO.30を反映
③仕事の量・質の変化	17	仕事内容・仕事量の大きな変化があった	Ⅱ	仕事内容・仕事量の大きな変化を生じさせる出来事があった		評価する出来事を明確化
	18	勤務・拘束時間が長時間化した	Ⅱ	勤務・拘束時間が長時間化する出来事があった		評価する出来事を明確化
	19	勤務形態に変化があった	Ⅰ			
	20	仕事のペース、活動の変化があった	Ⅰ			
	21	職場のOA化が進んだ	Ⅰ			

出来事の類型	項目番号	現行		改正案		備考
		具体的出来事	負荷の強度	具体的出来事	負荷の強度	
④身分の変化等	22	退職を強要された	Ⅲ			
	23	出向した	Ⅱ			
	24	左遷された	Ⅱ			
	25	仕事上の差別、不利益取扱いを受けた	Ⅱ	非正規社員であるとの理由等により、仕事上の差別、不利益取扱いを受けた		18年度NO.15を踏まえた、評価の明確化
	26	(新規追加)	—	早期退職制度の対象となった	Ⅰ	14年度NO.38を反映
⑤役割・地位等の変化	27	転勤をした	Ⅱ			
	28	配置転換があった	Ⅱ			
	29	(新規追加)	—	業務を1人で担当するようになった	Ⅱ	14年度NO.7及び18年度NO.25を反映
	30	自分の昇格・昇進があった	Ⅰ			
	31	部下が減った	Ⅰ			
	32	部下が増えた	Ⅰ			
	33	(新規追加)	—	同一事業場内での所属部署が統廃合された	Ⅰ	14年度NO.30及び18年度NO.29を反映
34	(新規追加)	—	非正規社員のマネージメント、教育を担当した	Ⅰ	14年NO.44及び18年度NO.28、36を反映	
⑥対人関係のトラブル	35	(新規追加)	—	ひどい嫌がらせ、いじめ、又は暴行を受けた	Ⅲ	14年度NO.1及び18年度NO.3、4を反映
	36	セクシュアルハラスメントを受けた	Ⅱ			
	37	上司とのトラブルがあった	Ⅱ			
	38	部下とのトラブルがあった	Ⅰ		Ⅱ	「部下とのトラブルがあった」(18年NO.17)強度Ⅱの調査結果に基づき、強度を修正
	39	同僚とのトラブルがあった	Ⅰ			「部下とのトラブルがあった」強度Ⅱとの整合性はあるか(P)
⑦対人関係の変化	40	理解してくれていた人の異動があった	Ⅰ			
	41	上司が変わった	Ⅰ			
	42	昇進で先を越された	Ⅰ			
	43	同僚の昇進・昇格があった	Ⅰ			